

別紙 4

「水道用薬品の評価のための試験方法ガイドラインについて」（平成 12 年 3 月 31 日付け衛水第 21 号）新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

改 正 後	改 正 前
(略)	(略)
(別添)	(別添)
水道用薬品類の評価のための試験方法ガイドライン	水道用薬品類の評価のための試験方法ガイドライン
平成16年 3 月 (最終改正令和 8 年 1 月)	平成16年 3 月 (最終改正令和 5 年 3 月)
<u>環境省水・大気環境局環境管理課</u>	<u>厚生労働省医薬・生活衛生局水道課</u>
目次	目次
(中略)	(中略)
改正履歴	改正履歴
平成18年3月30日 健水発第0330001号	平成18年3月30日 健水発第0330001号
平成19年3月30日 健水発第0330001号	平成19年3月30日 健水発第0330001号
平成19年11月15日 健水発第1115002号	平成19年11月15日 健水発第1115002号
平成21年3月6日 健水発第0306002号	平成21年3月6日 健水発第0306002号
平成22年2月17日 健水発0217第 1 号	平成22年2月17日 健水発0217第 1 号
平成23年1月28日 健水発0128第 2 号	平成23年1月28日 健水発0128第 2 号
平成24年 2 月28日 健水発0228第 1 号	平成24年 2 月28日 健水発0228第 1 号
平成26年 3 月31日 健水発0331第 6 号	平成26年 3 月31日 健水発0331第 6 号
平成27年 3 月31日 健水発0331第 6 号	平成27年 3 月31日 健水発0331第 6 号
平成29年 3 月28日 生食水発0328第 1 号	平成29年 3 月28日 生食水発0328第 1 号
令和 2 年 3 月30日 薬生水発0330第 1 号	令和 2 年 3 月30日 薬生水発0330第 1 号
令和 5 年 3 月24日 薬生水発0324第 1 号	令和 5 年 3 月24日 薬生水発0324第 1 号
<u>令和 8 年 1 月28日 環水大管発2601285～2601288号</u>	
1 (略)	1 (略)
2 (略)	2 (略)

3～6 (略)

7 各評価項目ごとの試験方法等

7.1 各評価項目ごとの試験方法  
(略)

表2 各評価項目ごとの試験方法一覧

項目	試験方法	告示・通知
カドミウム及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法、誘導結合プラズマ質量分析法又は連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法	水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号。以下「検査方法告示」という。)に示す方法
水銀及びその化合物	連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法又は還元気化ー原子吸光光度法	同上
セレン及びその化合物	水素化物発生ー原子吸光光度法、フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ質量分析法、連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法又は水素化物発生ー誘導結合プラズマ発光分光分析法	同上
鉛及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法、誘導結合プラズマ質量分析法又は連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法	同上

3～6 (略)

7 各評価項目ごとの試験方法等

7.1 各評価項目ごとの試験方法  
(略)

表2 各評価項目ごとの試験方法一覧

項目	試験方法	告示・通知
カドミウム及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法又は誘導結合プラズマ質量分析法	水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法(平成15年厚生労働省告示第261号。以下「検査方法告示」という。)に示す方法
水銀及びその化合物	還元気化ー原子吸光光度法	同上
セレン及びその化合物	水素化物発生ー原子吸光光度法、フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ質量分析法又は水素化物発生ー誘導結合プラズマ発光分光分析法	同上
鉛及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法又は誘導結合プラズマ質量分析法	同上

ヒ素及びその化合物	水素化物発生一原子吸光光度法、フ レームレス一原子吸光光度法、誘導 結合プラズマ質量分析法、連続流 れ分析一誘導結合プラズマ質量分 析法又は水素化物発生一誘導結合 プラズマ発光分光分析法	同上
六価クロム 化合物	フレイムレス一原子吸光光度法、誘 導結合プラズマ発光分光分析法、誘 導結合プラズマ質量分析法又は連 続流れ分析一誘導結合プラズマ質 量分析法	同上
(略)	(略)	(略)
ホウ素及び その化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法、 誘導結合プラズマ質量分析法又は 連続流れ分析一誘導結合プラズマ 質量分析法	同上
(略)	(略)	(略)
亜鉛及びそ の化合物	フレイムレス一原子吸光光度法、フ レーム一原子吸光光度法、誘導結合 プラズマ発光分光分析法、誘導結合 プラズマ質量分析法又は連続流れ 分析一誘導結合プラズマ質量分析 法	同上
鉄及びその 化合物	フレイムレス一原子吸光光度法、フ レーム一原子吸光光度法、誘導結合 プラズマ発光分光分析法、誘導結合 プラズマ質量分析法又は連続流れ 分析一誘導結合プラズマ質量分析 法	同上
銅及びその 化合物	フレイムレス一原子吸光光度法、フ レーム一原子吸光光度法、誘導結合 プラズマ発光分光分析法、誘導結合 プラズマ質量分析法又は連続流れ 分析一誘導結合プラズマ質量分析 法	同上
マンガン及 びその化合	フレイムレス一原子吸光光度法、フ レーム一原子吸光光度法、誘導結合 プラズマ発光分光分析法、誘導結合	同上

ヒ素及びそ の化合物	水素化物発生一原子吸光光度法、フ レームレス一原子吸光光度法、誘導 結合プラズマ質量分析法又は水素 化物発生一誘導結合プラズマ発光分 光分析法	同上
六価クロム 化合物	フレイムレス一原子吸光光度法、誘 導結合プラズマ発光分光分析法又は 誘導結合プラズマ質量分析法	同上
(略)	(略)	(略)
ホウ素及び その化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法又 は誘導結合プラズマ質量分析法	同上
(略)	(略)	(略)
亜鉛及びそ の化合物	フレイムレス一原子吸光光度法、フ レーム一原子吸光光度法、誘導結合 プラズマ発光分光分析法又は誘導結 合プラズマ質量分析法	同上
鉄及びその 化合物	フレイムレス一原子吸光光度法、フ レーム一原子吸光光度法、誘導結合 プラズマ発光分光分析法又は誘導結 合プラズマ質量分析法	同上
銅及びその 化合物	フレイムレス一原子吸光光度法、フ レーム一原子吸光光度法、誘導結合 プラズマ発光分光分析法又は誘導結 合プラズマ質量分析法	同上
マンガン及 びその化合	フレイムレス一原子吸光光度法、フ レーム一原子吸光光度法、誘導結合 プラズマ発光分光分析法又は誘導結	同上

物	プラズマ質量分析法又は連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法	
(略)	(略)	(略)
アンチモン及びその化合物	水素化物発生ー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ質量分析法、連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法又は水素化物発生ー誘導結合プラズマ発光分光分析法	水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について(平成15年10月10日付健水発第1010001号)に示す方法
ウラン及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法、固相抽出ー誘導結合プラズマ発光分光分析法又は連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法	同上
ニッケル及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法、誘導結合プラズマ質量分析法又は連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法	同上
(略)	(略)	(略)
バリウム及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法、誘導結合プラズマ質量分析法又は連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法	7.2.2による
モリブデン及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法、誘導結合プラズマ質量分析法又は連続流れ分析ー誘導結合プラズマ質量分析法	7.2.1による
(略)	(略)	(略)

7.2 (略)

物	合プラズマ質量分析法	
(略)	(略)	(略)
アンチモン及びその化合物	水素化物発生ー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ質量分析法又は水素化物発生ー誘導結合プラズマ発光分光分析法	水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について(平成15年10月10日付健水発第1010001号)に示す方法
ウラン及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法又は固相抽出ー誘導結合プラズマ発光分光分析法	同上
ニッケル及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法又は誘導結合プラズマ質量分析法	同上
(略)	(略)	(略)
バリウム及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法又は誘導結合プラズマ質量分析法	7.2.2による
モリブデン及びその化合物	フレイムレスー原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法又は誘導結合プラズマ質量分析法	7.2.1による
(略)	(略)	(略)

7.2 (略)

7.2.1 モリブデン及びその化合物

モリブデン及びその化合物の試験は、次に示す第1、第2、第3又は第4のいずれかの方法による。

第1～第3 (略)

第4 連続流れ分析—誘導結合プラズマ—質量分析法  
別添方法4に定める方法

7.2.2 バリウム及びその化合物

バリウム及びその化合物の試験は、次に示す第1、第2、第3又は第4のいずれかの方法による。

第1～第3 (略)

第4 連続流れ分析—誘導結合プラズマ—質量分析法  
別添方法4に定める方法

7.2.3～7.2.4 (略)

2～4 (略)

別添方法1～3 (略)

別添方法4 連続流れ分析—誘導結合プラズマ—質量分析法

検査方法告示の別表第6の2の例による。

ただし、モリブデン及びバリウムの標準原液の調製方法、標準液の濃度及び調製方法、濃度範囲及び測定質量数は次による。

(1) モリブデン及びバリウム標準原液

「別添方法1 フレームレス—原子吸光光度法」の例による。

(2) 金属類混合標準液

「別添方法2 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法」の例による。

(3) モリブデン及びバリウムの濃度範囲及び質量数

表8による。

表8 対象金属の濃度範囲及び質量数

7.2.1 モリブデン及びその化合物

モリブデン及びその化合物の試験は、次に示す第1、第2又は第3のいずれかの方法による。

第1～第3 (略)

(新規)

7.2.2 バリウム及びその化合物

バリウム及びその化合物の試験は、次に示す第1、第2又は第3のいずれかの方法による。

第1～第3 (略)

(新規)

7.2.3～7.2.4 (略)

2～4 (略)

別添方法1～3 (略)

金属類	濃度範囲 (mg/L)	質量数
<u>モリブデン</u>	<u>0.0004~0.02</u>	<u>95、96、98</u>
<u>バリウム</u>	<u>0.004 ~0.2</u>	<u>137、138</u>

参考資料 (略)

参考資料 (略)